



## ネットトラブル講演会

14日(火)の5・6限に浜松学院大学教授の今井昌彦氏を招いてネットトラブル講演会が行われました。ここ数年でインターネットを取り巻く環境は大きく変わり、今では様々な機器を使い、時間や場所を選ばずに、手軽にインターネットを使うことができる時代となりました。生活していく上で、インターネットは必要不可欠と言ってもおかしくないくらい、我々の生活に溶け込んでいます。とても便利なツールですし、インターネットに助けられたことがある人も案外多いのかもしれませんが、しかし、便利であるが故に様々なトラブルが起こっていることも事実です。

長い前置きとなりましたが、そのトラブルを未然に防ぐために、どう考え、行動していかなければならないのか。トラブルに巻き込まれた時に、どう行動して対処していかなくてはならないのかを今回学習しました。更に講演の中で、1クリックで人生が狂ってしまう可能性がある「デジタルタトゥー」やゲームの世界と現実の世界を混同してしまう「ゲーム脳」、スマホやゲームには勉強した内容を脳から打ち消し、脳自体を萎縮(いしゅく)させてしまうのではないかと脳科学の見地から論文が出されたなど、衝撃的な内容が盛り込まれていました。以下は講演を終えての生徒の感想です。

・自分もラインやゲームはよく使うし、正直依存しているレベルだと思っていたので、廃人にならないように、使う時間を決めて生活しようと思った。ネット上でのいじめは正直くだらないし、自分だけじゃ何もできなくて、自分を守る「仲間」を作っていないでいるのは理解できない。ネットだけではなく、現実にも起こっている「いじめ」もなんとかないかなと思う。 植田さん

・いつも何気なくスマホを使っているけど、言葉をしっかり選んでから使わないと、自分の人生だけではなく、家族の人生までも大きく変えてしまう可能性があると思って、恐ろしく思えた。 深見さん

・スマホを使いすぎると成績が下がるというのを見て、僕も思い当たることがあったので、自分で決まりを決めてスマホと向き合っていきたい。 高濱くん

・写真一枚にあんなにも情報が詰まっているとは思わなかった。twitterやタイムラインなどに載せる時は本当に気をつけて載せない、後で取り返しのないことになるのがわかった。 大橋さん

・自分はスマホを持っていて、毎日かなり長い時間を使っています。今回の講演会を聞いて、スマホの恐ろしさを知ったので、使用時間を減らすなど、使い方に気をつけていきたいです。 加藤(結)さん

・SNSにアップした画像から住所が特定される危険性があるということに驚いた。自分も特定される可能性が十分にあったということに気がつき、ネットの怖さを改めて知ることができた。 山田さん



また、講演の最後には、けん玉やお手玉が、スマホやインターネットに影響を受けてしまった脳をリセットできる効果が期待できるということで、クラスで3人代表となり、ステージ前でお手玉を行いました。我が3Eからは古林さんと児玉くん、武岡くんが挑戦しました。(写真左)昔ながらの遊びが脳にいいということは意外でしたね。脳が疲れたときや、勉強で疲れた時に試してみてもいいですね。